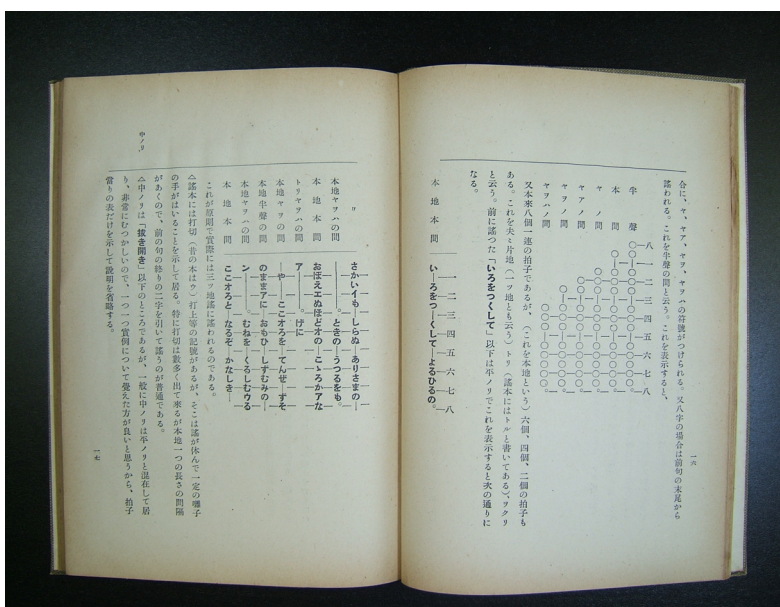
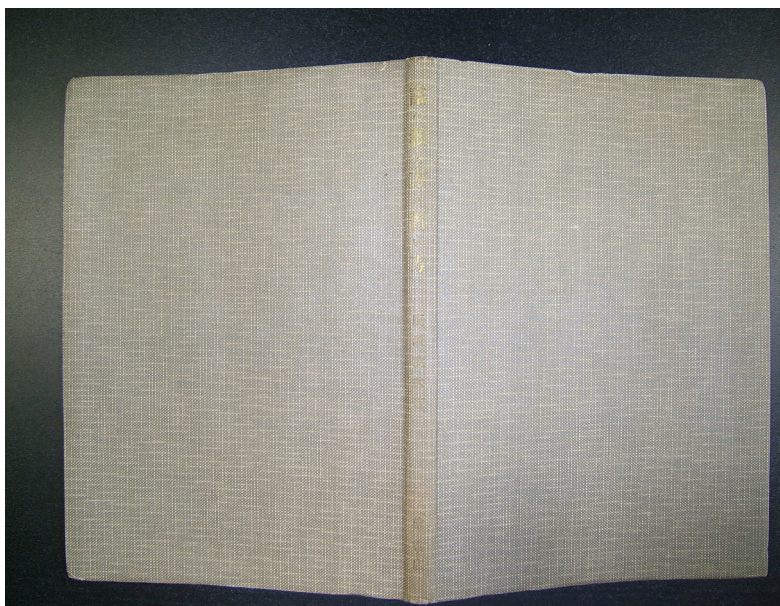


廣瀬政次 『謡の教え方と習い方』

初心者に必要な謡の知識を、バランスよく的確に伝授するための要点ノートとして書かれた教本。選曲は、神男女狂鬼をカバーできるよう、土蜘蛛、紅葉狩、田村、経正、小督、羽衣、竹生島、嵐山、東北、桜川の十曲。橋弁慶、鶴亀ではじまる旧来の順序をとらない。写真下は、土蜘蛛。拍子合の部分にかかった所に合わせ、拍子当りの基本を示している。説明には三ツ地謡／ツツケ謡という語も見られるが、それは俗にいう言い方であるとの断りもある。観世流の謡教本にしては、割付が多く見られるのが特徴。



標題 内題：―

標題紙：謡の教え方と習い方

奥 附：謡の教え方と習い方

その他：謡の教え方と習い方（背・観世華雪序）

著者 奥 附：廣瀬政次

出版 版 次：第一版

出版地：東京

出版社：檜書店

出版年：昭和25（1950）

その他の場所：序 昭和25（1950）

形態 冊 数：一冊 頁 数：九四頁二十頁

寸 法：21×15（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 観世華雪序、藤波順三郎序。卷末に凶表

（二十頁）有。